

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	日本語	担当教員	齊藤聖菜		
学年学科	4年 留学生	通年	必修	2単位	
学習・教育目標	(C-1) 70% (A-1) 30%				
授業の目標と期待される効果： 学習者自身と日本社会が関連付けられるテーマについて、読む、話す（聞く）、書く活動を行うことで、学習者それぞれが自分自身や日本社会について個人で思考し、自分の考えを日本語で表現し互いに伝え合い、それぞれの思考を広げたり深めたりしていくことを目指す。また、常に自分に必要な日本語能力を内省し目標を立て自律的な学習能力を身に付けることを目指す。 ① 自分自身と日本社会について思考できる。 ② 自分の考えを他者に話したり書いたりすることで表現して伝えられる。 ③ 他者との相互作用を通して、自己理解、日本に対する理解が深まる。 ④ 自分に必要な日本語能力を把握し自律的に学習を進められる。		成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点 ＋ 普段の授業参加態度 100 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点 ＋ 普段の授業参加態度 100 点 学年：前・後期の重みを等しくして合計し得点率（％）で成績をつける。 ※授業参加態度は、授業中に日本語で話そう、書こうという意欲が見られるか、振り返りシートの記述から自分の能力を適切且つ積極的に把握しようという態度が見られるかによって評価する。 達成度評価の基準： 教科書レベルでの授業内容の理解について、以下の項目に関する試験・課題に対して 6 割以上の正答レベルまで達していること。 ① 各課のテーマで扱った日本事情・文化について、各課の重要文法も使いながら、理解可能で内容を明確に口頭で説明できる。 ② 各課のテーマで扱った日本事情・文化について、各課の重要文法も使いながら、理解可能で内容を明確に説明した十分な量の作文が書ける。			
授業の進め方とアドバイス： 授業は他者とやり取りすることに比重を置くため、個人作業が可能なことは予習とする。新出・既出に限らず各自言葉の整理ができるよう言葉シートを作ること。生徒が主体的に学習に参加し自律的に学習を進められるよう、各テーマが終了するごとに振り返りシートに記入する。言葉シート、授業中の作文、振り返りシートはファイリングし期末テスト後の全体の振り返りで活用する。					
教科書および参考書： テーマ別中級から学ぶ日本語（研究社 2003） 他にプリント、辞書等。					
授業の概要と予定：前期					ALのレベル
第 1 回：第 1 課 [たとえる] 事前活動、読む活動					
第 2 回：第 1 課 [たとえる] 話す活動、書く活動、振り返り					
第 3 回：第 3 課 [はたらく] 事前活動、読む活動					
第 4 回：第 3 課 [はたらく] 話す活動、書く活動、振り返り					
第 5 回：第 4 課 [あきれる] 事前活動、読む活動					
第 6 回：第 4 課 [あきれる] 話す活動、(書く活動)、[日本人ゲストセッション] 準備					
第 7 回：[日本人ゲストセッション] セッション、振り返り					
第 8 回：中間試験					
第 9 回：第 5 課 [たべる] 事前活動、読む活動					
第 10 回：第 5 課 [たべる] 話す活動、書く活動、振り返り					c
第 11 回：第 7 課 [いう] 事前活動、読む活動					
第 12 回：第 7 課 [いう] 話す活動、書く活動、振り返り					
第 13 回：第 8 課 [かざる] 事前活動、読む活動					
第 14 回：第 8 課 [かざる] 話す活動、書く活動、振り返り					
期末試験					
第 15 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）、前期全体の振り返り					

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第16回：第9課 [あらわす] 事前活動, 読む活動	
第17回：第9課 [あらわす] 話す活動, 書く活動, 振り返り	
第18回：第10課 [いきる] 事前活動, 読む活動	
第19回：第10課 [いきる] 話す活動, 書く活動, 振り返り	
第20回：第12課 [あつまる] 事前活動, 読む活動	
第21回：第12課 [あつまる] 話す活動, (書く活動), [日本人ゲストセッション] 準備	
第22回：[日本人ゲストセッション] セッション, 振り返り	
第23回：中間試験	
第24回：第14課 [であう] 事前活動, 読む活動	c
第25回：第14課 [であう] 話す活動, 書く活動, 振り返り	
第26回：第15課 [わかりあう] 事前活動, 読む活動	
第27回：第15課 [わかりあう] 話す活動, 書く活動, 振り返り	
第28回：第17課 [わかる] 事前活動, 読む活動	
第29回：第17課 [わかる] 話す活動, 書く活動, 振り返り	
期末試験	
第30回：フォローアップ (期末試験解答解説など), 後期全体の振り返り	

評価 (ルーブリック)

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	各課のテーマ理解、要旨把握に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。	各課のテーマ理解、要旨把握に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	各課のテーマ理解、要旨把握に関する問題を解くことができない。
②	各課の新出語彙や重要文法も使用しながら、聞き手が理解するのにほとんど(8割以上)負担を感じさせずに各課のテーマの要旨や自分の考えを口頭で説明できる。	各課の新出語彙や重要文法も使用しながら、各課のテーマの要旨や自分の考えを口頭で説明できる(6割以上)が、所々聞き手が理解するのに負担を感じる部分もあるが。	各課の新出語彙や重要文法も使用・不使用に関わらず、各課のテーマの要旨や自分の考えを口頭で説明しても、聞き手が理解するのに非常に負担がかかる、もしくは理解不可能である。
③	各課の新出語彙や重要文法も使用しながら、各課のテーマの要旨や自分の考えについて、読み手が理解するのにほぼ(8割以上)負担を感じさせない作文が書ける。	各課の新出語彙や重要文法も使用しながら、各課のテーマの要旨や自分の考えについて、読み手がほぼ理解可能な作文が書ける(6割以上)が、所々論旨や日本語の表現で理解が難しいところがある。	各課の新出語彙や重要文法の使用・不使用に関わらず、各課のテーマの要旨や自分の考えについて書かれた作文を読み手が理解するのに非常に負担がかかる、もしくは理解不可能である。
④	各課終了時点での自分の日本語能力や必要性について助けがなくても自ら深く内省ができる。	各課終了時点での自分の日本語能力や必要性について内省ができるが、一部支援が必要である。	各課終了時点での自分の日本語能力や必要性について内省ができない。